

第1分科会

テーマ：河川改修等における工夫事例 ～河道掘削の取組など～

No.	題名	地方ブロック	水系名 河川名	直轄/補助 (級別)	河川概要				はっぴょうしゃ 発表者	所属部署		事業の概要
					河川の 流域面積	河川分類	整備計画流量 ^{※1}	セグメント ^{※1}		機 関	部・事務所	
1	渚滑川のケショウヤナギ保全に向けた取り組みについて	北海道	渚滑川水系 渚滑川	直轄(1級)	1240 km ²	大河川	1900m ³ /s	2-1	かせ こうめい 加勢 功明	北海道開発局	網走開発建設部遠軽 開発事務所	ケショウヤナギの保全を可能とした河道掘削を行い、その生育環境を創出する。
2	豊栄川における環境創出について	北海道	天塩川水系 豊栄川	補助(1級)	13.1 km ²	中小河川	50m ³ /s (W=1/30)	2-1	まつもと たかお 松本 崇男	北海道	上川総合振興局 旭川 建設管理部 土別出張 所	本川の河道は市街地を流下する直線的な形状であり単調な流れとなることから、河川改修にあたり植生や魚類生息環境の回復を目的として、一部区間において寄石+杭柵工及び多段式カゴマット工法の多自然護岸を施工した。その結果、良好な回復状況を確認している。 今回は、その中の1つとして、遊水地における湿地環境の創出等について紹介する。遊水地工事においては、早期の植生回復を目的として現場内で発生するすき取り土利用を
3	河道掘削工事箇所における重要種（サジオモダカ）の保全について	東北	最上川水系 最上川	直轄(1級)	7040km ²	大河川	7000m ³ /s (W=1/150)	2-1	さわ はやと 澤 隼斗	東北地方整備局	酒田河川国道事務所	・河道掘削予定箇所に重要植物サジオモダカが確認され、河川水辺の国勢調査アドバイザーとのヒアリングを基に保全措置を実施。
4	円山川における新たな湿地環境の創出を目指して ～中郷遊水地の湿地環境について～	近畿	円山川水系 円山川	直轄(1級)	1300 km ²	大河川	4,600m ³ /s (W=1/40)	2-1	てんら なおき 天良 尚紀	近畿地方整備局	豊岡河川国道事務所	・中郷地区遊水地での環境創出について設計を行う上で、昨年度より検討を行った内容について発表する。
5	高津川におけるアユの産卵状況に配慮した河床掘削（試験施工）とモニタリング結果について	中国	高津川水系 高津川	直轄(1級)	1090 km ²	大河川	3,300m ³ /s (W=1/50)	2-1	やまだ たかなり 山田 隆成	中国地方整備局	浜田河川国道事務所	・高津川の治水対策の大部分を河床掘削が占めており、生物環境（特にアユ）に配慮した掘削を行う必要がある。 ・斜め掘削による試験施工や物理環境（水深、流速、浮石状態）に着目した産卵適正度評価を行った。
6	自然環境に配慮した維持管理の容易な船底形河道	四国	物部川水系 物部川	直轄(1級)	508 km ²	大河川	4200m ³ /s	1	ふくとみ りょうき 福富 竜生	四国地方整備局	高知河川国道事務所	・船底形河道の整備にあたり、掘削断面を工夫することで自然環境を保全。 ・分散型落差工を設置し、底生生物や魚類の生息環境を創出。
7	有水川における河道掘削工事の工夫	九州	大淀水系 有水川	補助(1級)	27km ²	中小河川	330m ³ /s (W=1/350)	1	ひがし たかひろ 東 貴広	宮崎県	都城土木事務所	有水川での掘削箇所は、大淀川との合流地点から約600m付近であり、地元からも土砂撤去の要望があった。川幅自体は決して広くはないが、可能な限り、単調な堆積土砂の撤去にならないよう、ワンドの形成など、多自然へ配慮した工夫を施工の中で行った。